

単元名 **論点を捉えて「幻の魚は生きていた」**
 本単元で育成する資質・能力 **論理的思考力**

【単元観】
 本単元では、中学校学習指導要領国語科第1学年の「C読むこと」の指導事項ア「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること」、指導事項ウ「目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること」を受け、中心的な部分と付加的な部分を読み分けながら整理し、要旨を捉える力をつけることをねらいとしている。
 本教材は、環境問題を題材にした、序論・本論・結論の三部構成の説明的な文章である。筆者の主張を捉え、要旨を把握したり、筆者のものの見方や考え方を捉えたりするのに適した教材である。また、クニマスの発見に実際に関わった筆者による文章であり、単元後半で、内容を理解したことに基づいて、環境問題に対する自分の考えを書く活動に生かすことにつながる。

【生徒観】
 本学年の生徒は、本単元までに「ダイコンは大きな根？」の学習において段落の役割に着目したり、「ちょっと立ち止まって」の学習において図と文章の関係に着目して要旨を捉えたり、「シカの『落ち穂拾い』—フィールドノートの記録から—」の学習において図表と本文の関係をつかみ、図表の役割を捉えたりする学習を行ってきた。
 その中で、序論・本論・結論の構成や段落相互の関係を適切に捉えることができた。しかし、文章全体の要旨を捉え、文章を簡潔に要約することに課題がみられる生徒もいた。文章の中心的な部分と付加的な部分に着目し、キーワードやキーセンテンスに留意して情報を整理し、正確に要旨を捉えさせる指導が必要であることが分かった。
 要旨を捉えることについてレディネステストを行ったところ、45%の生徒が中心的な部分と付加的な部分を読み分けることに課題が見られた。また、23%の生徒が中心的なキーワードを把握することにも課題がみられた。

【単元を通しての提案】
 文章全体の要旨を捉え、目的に応じて要約する力の育成を目指す。そのために、文章の内容を新聞のリード文としてまとめることを通して、中心的な部分と付加的な部分とを吟味させ、生徒自身が文章の要旨を導き出せるような展開にしている。さらに、相互に社説を読み合う機会を設けることで、様々な考え方に触れさせ、自分の視野を広げたり、相手の意見と比較し自分の意見を精査したりできるような展開にし、論理的思考力の育成を目指した授業を提案する。



【指導観】
 指導に当たっては、生徒に目的意識を持たせ、主体的に学ぶ姿勢を養うことをねらいとして、「本文の内容を小学六年生に向けて紹介するために新聞のリード文にまとめる」活動を行う。実社会において身近な情報媒体である新聞におけるリード文を用い、対象を小学六年生に設定した。生徒が要旨を把握することができるように、段落ごとの内容理解だけでなく、更に大きな意味のまとめごとにより文章全体における役割を捉えさせる。その中で特に重要な文章やキーワードに注目させ、中心的な部分と付加的な部分を読み分ける。そして、リード文にまとめさせる際に、字数設定を行うことで、より重要な部分はどこかを考えさせる手立てとする。その後、まとめたリード文を相互に読み合い、他者の考えやその根拠を知ることを通して、自分が文章をどのように捉え、精査・解釈したのかを振り返らせる。その上で、人間の生活と生き物や環境との関係に対する自分の考えを、社説として文章に書かせる活動を行う。本教材以外の環境問題をテーマにした資料を提示し、自分の生活や体験もふまえて記述をさせる。さらに社説として記した文章を相互に読み合うことで、他者の要旨のまとめ方や環境問題に関する考え方などに触れさせ、自分の考えをより確かなものにする可以考虑。

単元の系統

| | 第1・2学年 | 第3・4学年 | 第5・6学年 | 中学校 |
|-------|--|--|---|---|
| 説明的文章 | 「くちばし」 「うみのかくれんぼ」 「じどう車くらべ」 「たんぼのちえ」 「どうぶつ園のじゅうい」 「おにごっこ」 | 「言葉で遊ぼう・こまを楽しむ」 「すがたをかえる大豆」 「ありの行列」 「大きな力を出す/動いて、考えて、また動く」 「アップとルーズで伝える」 「ウナギのなぞを追って」 | 「見立てる/生き物は円柱形」 「天気を予想する」 「想像力のスイッチを入れよう」 「笑うから楽しい/時計の時間と心の時間」 「『鳥獣戯画』を読む」 「自然に学ぶ暮らし」 | 「ダイコンは大きな根?」「ちょっと立ち止まって」 「シカの『落ち穂拾い』—フィールドノートの記録から—」 「幻の魚は生きていた」 「生物が記録する科学—バイオリギングの可能性—」 「メディアと上手に付き合うために」「モアイは語る—地球の未来—」 「君は『最後の晩餐』を知っているか」「科学はあなたの中にある」 「月の起源を探る」「『批評』の言葉をためる」「新聞の社説を比較して読もう」 「作られた『物語』を超えて」「誰かの代わりに」 |

単元の目標

- 文章の中の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、中心となる部分に着目して要旨を捉えることができる。
【知識及び技能】
- 目的に応じて、必要な情報に着目して文章全体の内容を要約することができる。
【思考力・判断力・表現力】
- 説明的な文章を読み、自然と人間の関係についての自分の考えを確かに行うことができる。
【思考力・判断力・表現力】
- 興味を持って文章を読み、交流を通して自分の考えを広げようとしている。
【学びに向かう力・人間性等】

指導と評価の計画

(1) 単元の評価規準

| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力 | 学びに向かう力・人間性等 |
|--|--|---------------------------------|
| ・文章の中の指示する語句と接続する語句に着目し、文章の中心となる部分を見つけている。 | ・文章の中心となる部分に着目しながら、要旨を捉え、内容をまとめている。 ・筆者の内容や筆者の考えに関心を持ち、自然と人間の関係について、自分の生活や体験も交えながら自分の考えを確かに行っている。 | ・興味を持って文章を読み、交流を通して自分の考えを広げている。 |

(2) 単元の指導計画及び評価計画 全7時間

| 次 | 学習内容(時数) | 評価 | | | | 評価方法 |
|---|--|------|--------|---------|---|--------|
| | | 知識技能 | 思考判断表現 | 学びに向かう力 | 評価規準 | |
| 一 | ・全文を通読し、「本文の内容を小学六年生に向けて紹介するために新聞のリード文にまとめる」という課題設定を行う。(1) | | | ○ | ・学習材を読み、興味をもった内容や感想を書いている。 | 観察・ノート |
| | ・文章の構成を確認し、中心となる部分を捉える。(2) | ○ | | | ・序論・本論・結論の三部構成を理解している。 ・指示する語句と接続する語句に着目し、中心となる部分を捉えている。 | 観察・ノート |
| 二 | ・文章の要旨を捉え、リード文を書く。(1) | | ○ | | ・紙面に入れるべき内容の選択や、情報の優先度の吟味などを適切に行っている。 | 観察・文章 |
| | ・まとめたリード文を班で交流する。(1) 本時 | | ○ | | ・仲間との交流を通して、よりよい要旨にまとめ直している。 | 観察・文章 |
| 三 | ・人間の生活と生き物や環境との関係に対する自分の考えを、社説として文章に書く。(1) | | ○ | | ・自分の生活や体験も踏まえて、根拠を明確にして自分の考えを書いている。 | 観察・文章 |
| | ・できあがった社説を読み合い、交流する。(1) | | | ○ | ・友達との交流を通して、さまざまな考え方に触れ、自分の考えを広げようとしている。 | 観察 |

本時の学習

【日常生活の中で資質・能力が顕在化した姿】

- ・比較、分類、関連付けの観点から自分の考えを整理し、深めている。
- ・友達の考えのよさに学び、自分の考えを修正・統合・発展することができる。

(1) 本時の目標

リード文の内容を相互交流することで目的に沿ったものであるかを精査し改善することができる。

(2) 観点別評価規準

- ・文章の中心となる部分に着目しながら、要旨を捉え、内容をまとめている。

【思考力・判断力・表現力】

- ・友達との交流を通して、リード文の内容を精査し、修正しようとしている。

【学びに向かう力・人間性等】

(3) 準備物

ワークシート、ホワイトボード

(4) 本時の学習展開

| 学習活動 ○発問 ・予想される生徒の反応 | ●指導上の留意事項 ☆評価規準【評価方法】 ※資質・能力の顕在化 |
|--|--|
| <p>1 課題意識をもつ。(3分)</p> <p>前時の要旨をまとめる活動の中で、うまくいかなかったところを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き始めに何から書いたらいいのかわからない。 ・200字に収まりきらなかった。 ・結論の部分をどのようにまとめたらよいか分からない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●前時に書いたリード文で生徒ができていない部分をあらかじめ把握しておく。 ●生徒のつまづいた部分の解決方法をグループで考えることを課題として設定する。 |
| <p>2 本時の課題、授業の流れを確認する。(2分)</p> <p>【課題】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">内容が簡潔に伝わるリード文にするために大事なことは何だろう。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ●分かりやすい言葉に言い換えるのではなく、より端的にまとめ直すことが今回の目的であることを伝える。 |
| <p>3 課題に取り組み、交流する。(35分)</p> <p>○それぞれが書いた記事を読み合っ、言い換えた方がよいところ、省略できるところ、付け加えた方がよいところをアドバイスしましょう。</p> <p>班交流<10分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・序論の二つの問題提起に対する答えが本論の中心となっていたため、入れた方がよいと思います。 ・問題提起の「クニマスはなぜ絶滅したのか」の答えは、「人の手による環境の改変のため」という一言でまとめられると思います。 ・今回必要な情報は、田沢湖と西湖のことだから、琵琶湖や本栖湖にクニマスの卵が譲渡されたという情報は削ってもよいと思います。 | <ul style="list-style-type: none"> ●前時に書いたワークシートを小グループで回し読みをさせる。 ●前時の学習内容を想起させ、中心となる部分、筆者の伝えたい部分はどこかを考えさせる。 |

- ・クニマスの保全のためにはどうしたらよいかという部分は、筆者の一番伝えたい部分だと思うので入れるべきです。
- ・15 段落の筆者の主張の部分は、「湖全体の環境を守り、人と生き物とがつながり合った関係を維持することがクニマスの保全につながる」という一文にまとめたらどうですか。

全体交流< 15 分 >

○簡潔に伝わるリード文にするために大事なことはどのようなことでしょうか。

- ・全体の内容をまとめるために、序論・本論・結論のそれぞれの中心になる部分をまとめることが大事だと思います。
- ・文をそのまま書き写すと長くなってしまうので、必要に応じて短く言い換えるとよいと思います。
- ・説明をしている部分ではなく、その説明を一言で表しているキーワードを使うと短く内容を伝えられます。
- ・問題提起とその答えになる部分に注目するとまとめやすくなりました。

個人思考< 10 分 >

○交流を通して、もう一度リード文の内容を練り直してみよう。

- できていない部分を指摘するのではなく、どのように直したらよいかという具体的な改善策を考えさせる。
- 班の中で出てきたアドバイスを通して、簡潔に伝えるためのポイントをホワイトボードに書かせる。
- ホワイトボードを黒板に貼り、いくつかの班に出てきた意見を発表させる。
- 発表させる際には、具体的にどのように修正したのかも合わせて発表させ、リード文に必要な要素（本文の中で中心となる部分や筆者の主張など）を全体でも再確認をする。
- 全体交流で出てきた意見から、簡潔に伝わるリード文を書く上で重要なポイントを再確認する。
- 班交流で出てきたアドバイスを紹介させることで、班では出てこなかった、よりよいリード文のまとめ方について気付かせる。

☆単に本文を抜き書きするのではなく、入れるべき内容の選択や、情報の優先度の吟味を行い、自分の言葉で簡潔に言い換えたり、まとめ直したりしている。【授業観察・文章】

<リード文の例>

田沢湖の幻の魚クニマスは人間による環境の改変によって絶滅した。しかし、絶滅前にクニマスが産卵して生存できる条件を備えた西湖に移植されていたから生きていたのだ。

湖全体の環境を守り、人と生き物とがつながり合った関係を維持することがクニマスの保全には重要である。中坊氏は「クニマスの田沢湖への里帰りのためには気の遠くなるような時間と労力が必要だが、少しずつ環境を元に戻さなければならない」と述べている。(198字)

4 本時のまとめをする。(5分)

○伝わりやすいリード文を書くためにはどのようなことが重要でしょうか。

<生徒のまとめ例>

- ・筆者が立てた問いを探し、その問いの答えになる部分に注目してまとめるとよいことが分かった。
- ・文章の説明の内容を一言で表しているキーワードを探ることが重要だと思う。
- ・序論・本論・結論の、それぞれの中心となる部分を繋ぎ合わせることで文章の要旨になるということが分かった。

5 本時を振り返り、次時につなげる。(5分)

○振り返りを書きましょう。次の授業で生かしたいことや気を付けたいことは何ですか。

- ・私は、文章が入りきらなくて困っていたときに、〇〇さんの「絶滅の原因は、“人の手による改変”の一言でまとめられる」というアドバイスを受けて、今回の文章ではそこが中心となる部分であったことが分かりました。次の時間でも、記事の見出しを考えると、本文の中で一番重要な部分は何かを考えながら、取り組みたいと思いました。
- ・本文をそのまま抜き出すのではなく、短く言い換えてまとめることが難しかったです。次の授業では、もっと短く言い換えることはできないか、もっと分かりやすい表現はないか等を考えて、自分なりの言葉でまとめていきたいです。

●本時の学びを振り返って分かったことや、考えが深まったことなどを書かせる。また、文章の要旨を捉える上での自分の考えを記述させ、自分の考えがどのように変わったり深まったりしたかを自分の言葉で表現させる。

●数名に前回書いたリード文と今回まとめ直した文を発表させる。

※他者との交流を通して、自分の考えを見直したり、加えたりして、思考を深めている。

板書計画

振り返り

まとめ

- ・ 問いと答えになる部分に注目してまとめる。
- ・ 一言で表しているキーワードを探す。
- ・ 序論・本論・結論の、それぞれの中心となる部分を繋ぎ合わせることで文章の要旨になる。

7班

4班

1班

8班

5班

2班

6班

3班

小グループで解決策を考えよう!

- ◎リード文を書く中で困ったこと
- ・ 入れるべき情報が分からない
- ・ 二百字に収まりきらない
- ・ 結論がうまくまとまらない

めあて

内容が簡潔に伝わるリード文にするために
大事なことは何だろう。

幻の魚は生きていた 中坊徹次